



映画

つぎとまります

- 映画「つぎとまります」あらすじ
バスが苦手だった少女・保津川美南が、運転士・沓掛守との出会いによりバスに憧れ、運転士になるべくバス会社に就職。霧深いこの街の神秘的な力が奇跡を起こす。美南の成長と共に、街と人とそれをつなぐバスや鉄道が活きる、亀岡市を舞台にしたヒューマンストーリー。
- 2023年撮影、2024年上映予定
- 原案・監督：片岡れいこ ● 脚本：青木万央
- 製作：ワンウェイフィルム
- プロデュース：(有)オムロ 西田宣善／(株)アートヒルズ 藤田祐司
- 文化庁「関西元気文化圏」参加事業
- 後援：亀岡市・近畿運輸局
- 協賛：京阪京都交通・各種団体・施設・企業
- 協力：京阪京都交通・亀岡フィルムコミッション・亀岡市



バスファン待望の！

映画「つぎとまります」は、京阪京都交通 本社事務所・亀岡営業所の全面協力を得て2020年より制作準備に入っています。

運輸業界全体および地域の活性化と発展を願う、この映画制作の主旨にご賛同いただき、亀岡市・近畿運輸局に続き、応援してくださる輪もどんどんと広がっております。



#道さえあれば、バスは来る

バス事業の社会的重要性を広く認識してもらうため、バスが災害輸送など社会インフラとして従事する一面を物語の中に。鉄道は動脈・バスは毛細血管

自動車依存率の高さが、二酸化炭素や大気汚染物質の排出削減の課題となるなかで、地域公共交通は環境効率のよい交通手段として重要な役割をはたします。地域公共交通は存在自体がSDGs !!

バスは人生を乗せて走る・・・

協賛・クラファンにご協力を！

映画のワンシーンで走行させるべく、今は通常運行には出ていない三菱ふそうエアロスター1998年式のバスを「京都交通」の頃のデザインに復刻塗装予定！クラウドファンディングの返礼にはレアな復刻バスによるグッズやツアーの企画をご用意します。



監督：片岡れいこ

ワンウェイフィルム 代表、映画監督、マルチクリエイター。京都市出身。
2020年、京都を舞台にしたノスタルジック・ファンタジー長編『人形の家』を公開。
短編コメディ『もてもてピエロ』イタリア night of comedy shorts セミファイナリスト。
2022年ファンタジー中編「ネベンテスの森」公開。2023年亀岡ロケの時代劇「華の季節」公開予定。

脚本：青木万央

2003年 函館港イルミネーション映画祭・シナリオ大賞長編部門 準グランプリ
映画、テレビをはじめ舞台の脚本など幅広く活躍中。代表作：テレビ東京・ガールズ×戦士シリーズ、『リズスタ -Top of Artists!-』、映画『豆腐小僧』などその他多数。

プロデューサー

(有)オムロ 西田宣善 —— 映画『嵐電』企画・プロデュース、『信虎』プロデューサー、『無伴奏』製作
(株)アートヒルズ 藤田祐司 —— 元ニッポン放送一口坂stプロデューサー、『鉄道チャンネル』局長